

障がい児者にやさしい新庁舎整備ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

令和5年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった障がい児者の方々に、「だれにでもやさしい新庁舎の機能」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

② テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード（建物・設備等）に関することを主なテーマとする。ソフト（利用方法・サポート等）、ハート（想い・考え方等）に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③ 対象

障がい児者と養護者 17名

④ 実施日時

2024年8月27日(火) 13:30~15:00

⑤ 実施場所

生涯学習センター201

⑥ アンケート回収状況

10件 回収（紙：9件、Google フォーム：1件（9月1日ㄮ））

2. アンケート結果

問1. 本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=10】
満足	8
やや満足	0
やや不満	1
不満	0
未回答	1
合計	10

問2. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

	回答者数【N=10】
美濃加茂市ホームページ	3
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	0
美濃加茂市 LINE	1
美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)	0
すぐメールみのかも	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
福祉事業所からの紹介	5
所属団体からの呼びかけ	1
その他	1
未回答	0
合計	12

問3. 本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

- いろいろな人へ丁寧な対応をできることが必要。障がいを持っている人が発言すると具体化できる。
- あったらいいと思うことは多くの方が同じ考えをもっていることに気づけた。
- やさしい町づくりに新庁舎がいこいの場にもなれるように。
- だれにでも優しいということが大切であると感じました。
- 多くの方々が真剣に考え取り組んでいることがわかりました。
- 小グループでの話し合いのため、気兼ねなく話すことができた。
- 出された意見も少なく、かつ十分な意見交換ができず、もっと理解を深めたかった。

問4. 言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

- 現在の自分の障がいしか考えていなかったが、トイレやエレベーターも大切なこと。
- 新庁舎の場所について検討しているのか？
- 言いやすい雰囲気です十分話せました。
- 外出のままならない障がい者には市庁舎の中で図書室やレストラン、理美容室など利用ができる、ソフトハード面でも明るく広く優しい場所であってほしい。

問5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

- 情報がいろいろほしい。
- 場所を早めに決定してほしい。
- 今回の意見を生かした新庁舎が出来るようお願いします。
- 今後も皆さまでより良い新庁舎をつくって頂けたらと思います。
- もっといろいろな立場の方の意見を聞いてほしい。

問 6. 障がいのある人が利用しやすいように新庁舎を整備する上で新庁舎整備において考慮すべきことがあればご自由にご記入ください。

【身体障がい】

- 交通のアクセスを考え、気軽に行ける市役所であって欲しい。
- 移動スペースも広くする。バリアフリー。案内をわかりやすく。
- 段差解消
- 通路や幅の広さ。トイレの設備
- 障がい者にもいろんな人がいることを考慮してお願いします。例えば視覚障がい者の人はどうしたらいいでしょう。
- 〈アクセス〉公共交通機関、タクシーを利用して一人で市庁舎に行けるよう配慮してほしい。自家用車を使った場合、輪止めの幅が狭くて通り抜けできない場合があるので、車椅子の幅を考慮してほしい。
〈トイレ〉自動洗浄の場合、思わず衣類が濡れてしまう時があるので、手動で確実に洗浄できるようにしてほしい。鏡を設置して車椅子での角度にも配慮してほしい。タッチパネルの位置、トイレットペーパーの位置など座って取れる位置にしてほしい。

【知的障がい】

- 見て分かりやすい案内、書類。

【精神障がい】

- 落ちつける場所。丁寧な説明を出来る場所。混乱しても落ちついて対応できるスタッフ。
- 人目が気にならないスペースをつくること。
- 静かな環境
- 案内のわかりやすさ。優しい声かけ、案内。